

取扱説明書（保証書付き）

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品の適正な使用を行なうための説明・注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

安全上のご注意（必ずお守りください）

※ 本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

● 本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

- 警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。
- 注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

● 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。

- 禁止

製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。
- 強制

製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■ 取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）

- 警告

付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。

取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

- 注意

本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。

高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。

製品は、水平に取付けてください。
- 禁止水

■ 使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

- 警告

コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。


- 日本ブラインド工業会

- 禁止

製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

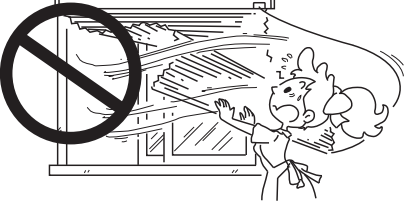

- 禁止

急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。



- 注意

強風の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンをたたみ上げた状態にしてください。



禁止

メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。



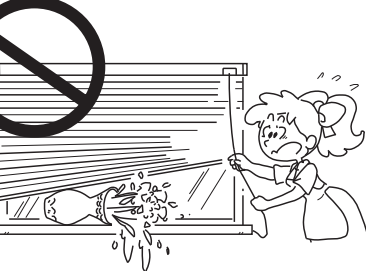
禁止

火のそばでの使用は絶対におやめください。



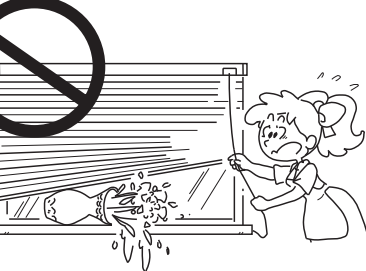
禁止

必ず操作コードで操作を行ってください。スクリーンやボトムレールを持って操作を行わないでください。

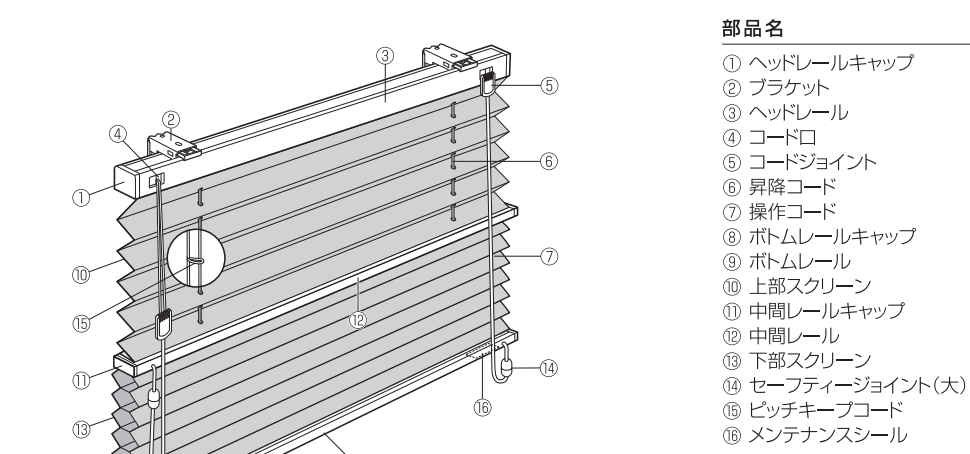


禁止

昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。



製品全体図及び部品名称



■ 付属部品

部品名	ブラケット	ブラケット取付けネジ (ナベφ3.5×20)
製品幅 (mm)		
～ 1200	2 個	2 本
1210 ～ 2000	3 個	3 本

■ 製品重量

約2.6kg(幅1200mm 高さ2000mmの場合)

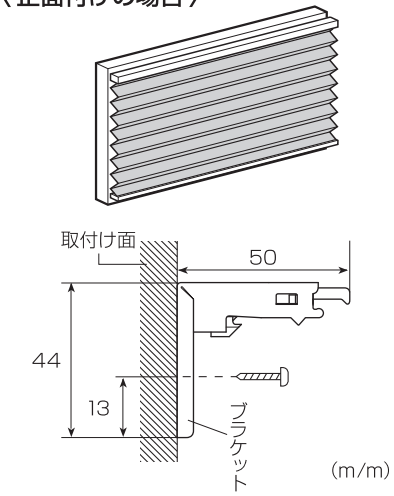
製品の取付け/取外し方法

- 注意

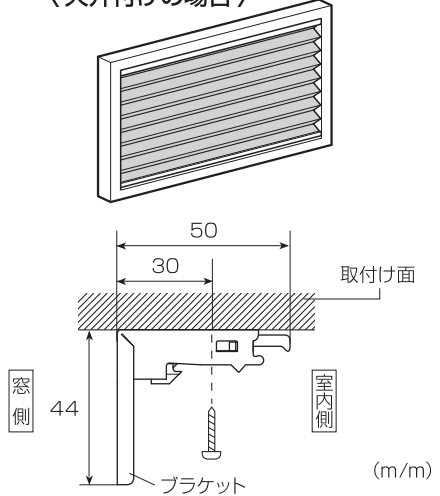
付属部品の取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

■ 取付けの種類

〈正面付けの場合〉

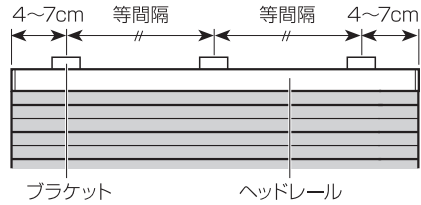


〈天井付けの場合〉



■ ブラケットの取付け位置

- ブラケットはヘッドレールの両端から各4～7cmの位置が最適です。
- ブラケットが3個以上の場合はその間が等間隔になるよう取付けてください。



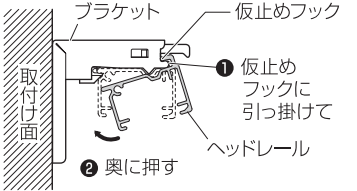
■ ブラケットの取付け方法

- 上記の「取付けの種類」の図を参考にして、ブラケットを付属のブラケット取付けネジで取付けてください。

※ ブラケット1個に対し、取付けネジは1本です。上記の図はブラケットの長穴の中心までの寸法図です。
ブラケットには丸穴もありますが取付け状況に応じてご使用ください。

■ 製品本体の取付け方法

- ヘッドレールをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。
- 本体を奥に「カチッ」と押し込んでください。

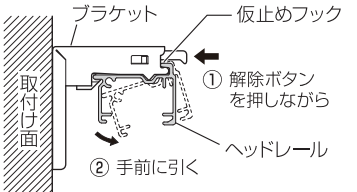


- 注意

本体取付け後、確実に本体がブラケットに固定されていることをご確認ください。

■ 製品本体の取外し方法

- スクリーンをたたみ上げた状態で本体を持ち、ブラケットの解除ボタンを押しながら①ヘッドレールを手前に引いてください②。
- 本体を仮止めフックから外してください。

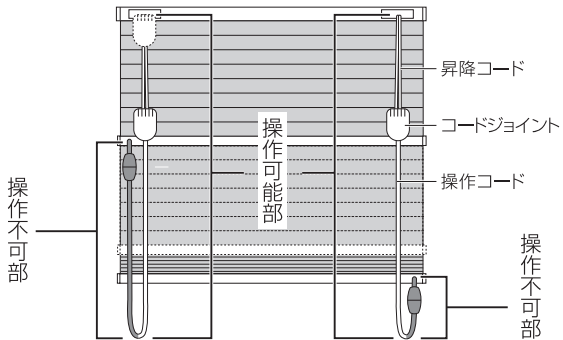


- 注意

ブラケットから製品を取外す際は、必ず手で支えながら作業してください。

操作方法

※「操作方法」の説明にある「操作コード」は下図の範囲を示します。操作可能部は操作コードの他にコードジョイント、昇降コードを含みます。



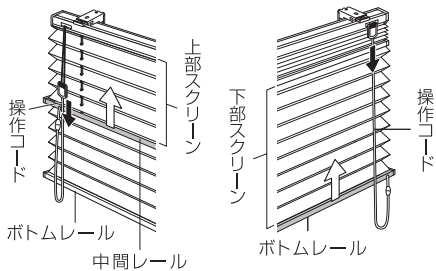
注意

- 上部スクリーンを完全にたたみ上げない状態で、下部スクリーンをたたみ上げないでください。上部スクリーンより昇降コードが飛び出し故障の原因となります。また、誤操作により上部スクリーンより昇降コードが飛び出した場合はボトムレールに繋がる操作コードを下方向に引きボトムレールを下げて、続けて中間レールに繋がる操作コードを少し下に引き中間レールを下げることで解消できます。
- 操作コードから手を離す際は、スクリーンが確実に止まること(切替動作がストップの状態にあること)を確認してから手を離してください。切替動作がストップの状態にないと、スクリーンが勢いよく下がりケガや故障の原因となります。
- スクリーンの上げ下げを行う場合に、操作不可部を引いても昇降は行えません。故障の原因となります。正しい位置を持って操作を行ってください。

■スクリーンの全体昇降(ボトムレールの動かし方)

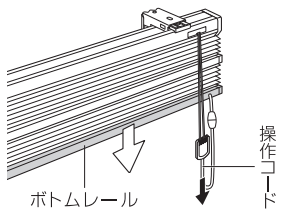
〈スクリーン(ボトムレール)を上げる場合〉

- 中間レールにつながる操作コードを下方向に引き、上部スクリーン(中間レール)を一番上までたたみ上げてください。
- ボトムレールにつながる操作コードを下方向に引き、下部スクリーン(ボトムレール)を止めたい位置で手を離してください。



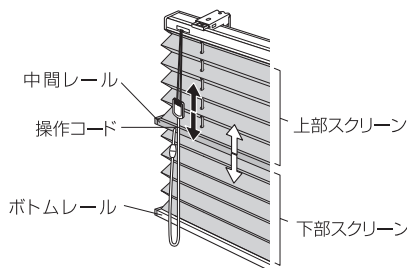
〈スクリーン(ボトムレール)を下げる場合〉

- ボトムレールにつながる操作コードを少し下に引くとストッパーが解除されボトムレールが下がります。ボトムレールを途中で止めたい場合は、再度、ボトムレールにつながる操作コードを下方向へ引くとストッパーが効き、ボトムレールが止まります。



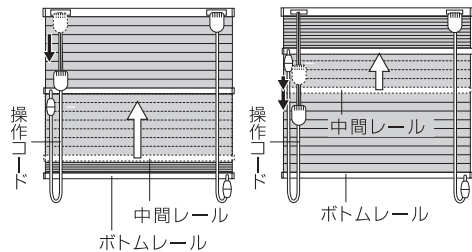
■スクリーンの上下切替(中間レールの動かし方)

- ツインタイプは中間レールを動かすことで、上下スクリーンの割合を変えることができます。※ 中間レールの切替動作は、ストップと解除が交互に作動する機構となっています。



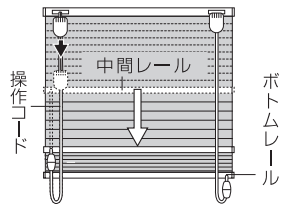
〈中間レールを上げる場合〉

- 中間レールが一番下にある場合は、中間レールにつながる操作コードを下方向に引き、中間レールを止めたい位置で手を離してください。
- 中間レールが途中にある場合は、中間レールにつながる操作コードを少し下に引き、手を一旦緩めてから再び操作コードを引き、中間レールを止めたい位置で手を離してください。



〈中間レールを下げる場合〉

- 中間レールにつながる操作コードを少し下に引くとストッパーが解除され中間レールが下がります。中間レールを途中で止めたい場合は、再度、中間レールにつながる操作コードを下方向へ引くとストッパーが効き、中間レールが止まります。

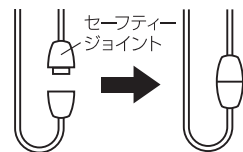


■セーフティジョイントについて

警告

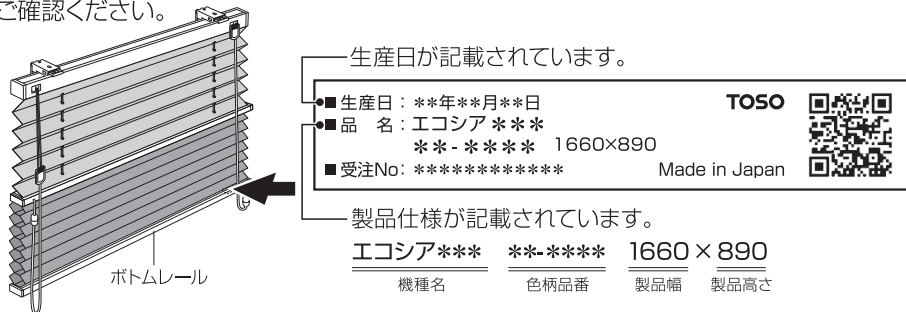
- お子様を操作コードで遊ばせないでください。首や体に巻き付く等して思わぬ事故を招く恐れがあります。

- セーフティジョイントは操作コードがお子様の首や体に巻き付いた場合、危険を回避する為に、操作コードを分離させるための部品です。
- セーフティジョイントに力がかかったり、セーフティジョイントの近くを持って操作すると、セーフティジョイントが外れます。セーフティジョイントが外れた場合は、そのまま使用せずに、再びはめ直してからご使用ください。



メンテナンスシール

- お買い上げの製品には、ボトムレール右側底面に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



- メンテナンスシールにQRコードが印刷されている場合は、QRコード対応の携帯電話で撮影すると携帯サイトにアクセスでき、製品情報を入手することができます。※ シール 設置場所・QRコードへの汚れ・破損などにより、読み取れない場合もございますのでご注意ください。

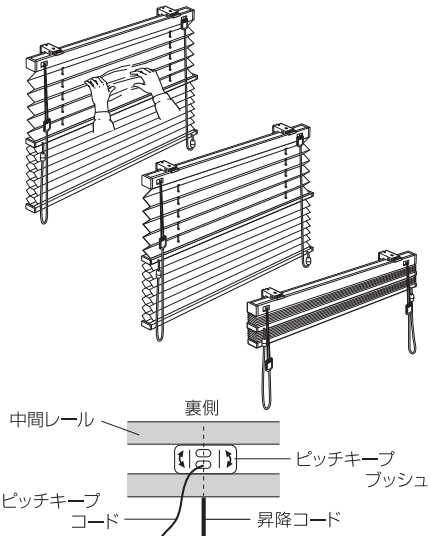
“故障かな”と思ったら

■こんなとき

現 象	原 因	処 置
●下部のスクリーンが正しく昇降できない。	→ 上部スクリーンが最上部までたたみ上がっていないと思われます。	●P.4『操作方法』をご覧ください。
●スクリーンがきれいなたたみ上がらない。	→ プリーツの折り目が乱れていると思われます。	●P.6『スクリーンの折り目が乱れた場合の直し方』をご覧ください。
●下部のスクリーンが斜めに上がる	→ ピッチキープッシュの固定位置がずれていると思われます。	●P.6『スクリーンが斜めに上がる場合の直し方』をご覧ください。

〈スクリーンの折り目が乱れた場合の直し方〉

- スクリーンが乱れた場合、手でプリーツの折り目を整えてからたたみ上げてください。
 - たたみ上げた状態でしばらく置き、プリーツの折り目を正しい状態にしてから操作を行ってください。
- ※ スクリーンの種類や状態によって復元に必要な時間は異なります。一度でスクリーンの乱れが直らない場合は、上記②のたたみ上げた状態をできるだけ長くとってください。



〈スクリーンが斜めに上がる場合の直し方〉

- 中間レールの裏側に固定されているピッチキープッシュを昇降コードの真上に合わせてください。

お手入れ方法

- 日頃のお手入れはハタキやハンドモップ等でほこりを落としてください。
- 水拭きや水のかかる場所でのご使用は、スクリーンが変色する場合がありますので避けてください。
- スクリーンは特殊樹脂加工されていますので折ったり曲げたりするとシワやクセが残りますので戻らない場合がありますので十分注意してください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

製品保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
当製品は、厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合には、アフターサポート規定に基づき修理をさせていただきます。

保証期間:お買い上げ日より3年間

アフターサポート規定

- 取扱説明書・本体注意ラベル・タグにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料で修理させていただきます。但し、スクリーン、スラット部は対象外です。また、弊社が指定する消耗部品(コード類)の無料修理サービスはお買い上げから1年以内とさせていただきます。無料修理サービスをご依頼になる場合は、メンテナンスシールをご確認のうえ、お買い上げの販売店へご依頼ください。転居などにより、お買い上げいただいた販売店が不明な場合は、弊社お客様相談室へお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理サービスとなります。
 - (イ) 本書の提示が無い場合。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷。
 - (ハ) 使用上の誤り、又は不当な修理や改造もしくは、純正部品以外の使用による故障、損傷。
 - (ニ) 火災・地震・雷・風水害その他天災地変など、外部要因による故障及び損傷。
 - (ホ) 特殊環境(強度の湿気、塩害、薬品のガス、公害)による故障及び損傷。
 - (ヘ) お買い上げ後の取付け場所の移動による故障及び損傷。
 - (ト) 当社カタログに記載している仕様以外の製品についての故障及び損傷。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。

トーソー株式会社 本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9

トーソー株式会社 ●お客様相談室 tel.03-3552-1002

本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9 ホームページアドレス http://www.toso.co.jp